

丹波篠山ふるさとに乾杯条例

前 文

農都篠山には、先人の弛まぬ努力によって培われ、篠山文化の礎をなす伝統の技として「丹波杜氏」と「丹波焼」があります。

「丹波杜氏」は、400年にわたり、日本三大杜氏の一つとして灘五郷をはじめ日本の清酒づくりを支えてきました。

「丹波焼」は、「日本六古窯」の一つとして800年の歴史をもつ伝統産業である国の伝統的工芸品に指定されています。

また、「デカンショ節」は、篠山が全国に誇る民謡であり、昔から宴（うたげ）の場においても盛んに唄われてきました。

「丹波杜氏」、「丹波焼」、「デカンショ節」は、先人が残したふるさとの宝であり、大切に守り、後世に引き継がなければなりません。

市民の理解と協力をもって、丹波杜氏の醸す酒を丹波焼の器に満たし、デカンショ節で盛り上げることは、市民やこのまちを訪れる人の農都篠山の暮らしや文化の理解の促進に寄与し、ひいてはまちの元気につながります。

よって、ここに丹波篠山ふるさとに乾杯条例を制定します。

第1条 篠山市は、丹波焼の器に丹波杜氏が醸す酒を満たし乾杯し、宴席をデカンショ節で盛り上げることを推奨します。

附 則

この条例は、平成26年1月1日から施行する。